

都市再生整備計画 事後評価シート
名手駅前地区

平成23年2月

和歌山県紀の川市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	和歌山県		市町村名	紀の川市		地区名	名手駅前地区			面積	7.9ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	1,778百万円	国費率	0.402				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路：(都)名手市場麻生津線、道路：(仮称)栄大黒線、公園：2号公園、地域生活基盤施設(耐震性貯水槽)、高質空間形成施設(都)名手市場麻生津線・カラー舗装、高質空間形成施設(都)名手市場麻生津線・照明施設、高質空間形成施設((仮)栄大黒線・カラー舗装)、高質空間形成施設((仮)栄大黒線・照明施設)									
			提案事業			事業活用調査・事業活用調査(事業評価アンケート調査)、まちづくり活動推進事業：住民参加による散策MAPづくり							
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	公園：1号公園		当該地の用地交渉が成立しないことに加え、地元意向の変化が生じたため			影響あり 指標3：住みやすさの満足度指数 (数値的に軽微な影響のため、変更なし)				
	新たに追加した事業		提案事業		なし			-			-		
基幹事業			なし		-			-			-		
交付期間の変更		当初	平成18年度～22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	指標1	(都)名手市場麻生津線の自動車交通量	台/12h	2,149	H16	2,579	H22	2,376		あり なし	道路整備により、自動車交通量の増加効果が期待され、現状でも朝のピーク時に交通量が増加するなどの効果が発現している。なお、将来的には1号国道24号との連絡に伴う交通量増加を期待するが、現状(評価時点)では見込めない状況にある。(目標値は、1号国道24号との連絡に伴う交通量増加を見込んでいるため、評価時点での達成度は目標値よりも低い状況にある。)	平成25年3月	
	指標2	消防活動円滑区域の割合	%	81	H16	100	H22	81 (H21)	100	あり なし	道路((都)名手市場麻生津線、(仮称)栄大黒線、県道整備事業)や公園整備(2号公園)により、消防活動困難区域が解消した。	平成25年3月	
指標3	住みやすさの満足度指数	-	2.46	H16	2.76	H22	-	3.28	あり なし	道路((都)名手市場麻生津線、(仮称)栄大黒線、県道整備事業)や公園整備(2号公園)により、安全性・利便性に関する満足度が向上した。	平成25年3月		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	その他の数値指標1	道路整備による防災に対する安全性の満足度	-	2.47	H16	/	/	3.56	/	/	/	道路整備により、地区の安全性向上に対する満足度が向上した。また、公園・耐震性貯水槽整備等が間接的に満足度向上に寄与していると考えられる。	平成25年3月
その他の数値指標2	道路整備による日常生活の利便性の満足度	-	2.76	H16	/	/	3.39	/	/	/	道路整備により、地区の利便性向上に対する満足度が向上した。また、道路の修繕整備や公園整備等も間接的に満足度向上に寄与していると考えられる。	平成25年3月	
4) 定性的な効果発現状況	<p>・本地区内では、住民以外に看護学校の学生や中学生の通行が非常に多く、道路整備により安全性が向上した。</p> <p>・道路整備等に伴い、地域住民等のまちづくり・活性化に対する意識が高まっている。</p> <p>・特に、本事業実施後のまちづくりの必要性についての意識が高まっている。(店舗・住宅の増加・歩行者の安全性確保など)</p>												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング		事後評価マニュアルに基づくモニタリングシートによるモニタリングの実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					指標に係るバックデータを確認する。(事業評価マニュアルに基づくモニタリングシートの記入)		
	住民参加プロセス		住民参加による散策マップづくり			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					住民の地区に対する誇り・愛着の向上を図るために、散策マップを適切に活用する。		
	持続的なまちづくり体制の構築		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					なし		

様式2-2 地区の概要

名手駅前地区(和歌山県紀の川市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標： 利便性と安全性を備えた魅力ある市街地づくり 目標1： 自動車交通の結節点機能の充実を図る。 目標2： 災害に対する安全性の向上を図る。 目標3： 魅力に満ち、愛着が持てる住環境整備を図る。	(都)名手市場麻生津線の自動車交通量 単位:台/12h	2,149 H16	2,579 H22	2,376 H22
	消防活動円滑区域の割合 単位:%	81 H16	100 H22	100 H22
	住みやすさの満足度指数 単位:-	2.46 H16	2.76 H22	3.28 H22
	道路整備による防災に対する安全性の満足度 単位:-	2.47 H16	- -	3.56 H22
	道路整備による日常生活の利便性の満足度 単位:-	2.76 H16	- -	3.39 H22

〔整備イメージ〕

都市再生整備計画の区域

- 基幹事業
道路((仮称)栄大黒線)
- 基幹事業
高質空間形成施設(カラー舗装)
- 基幹事業
高質空間形成施設(照明施設)

- 基幹事業
公園(2号公園)
- 地域生活基盤施設
地域防災施設(耐震性貯水槽)

- 基幹事業
道路((都)名手市場麻生津線)
- 基幹事業
高質空間形成施設(平板ブロック舗装)
- 基幹事業
高質空間形成施設(照明施設)

地区全域を対象

提案事業
まちづくり活動推進事業
(住民参加による散策MAPづくり)

提案事業
事業活用調査
(事業評価アンケート調査)

凡 例	説 明
	都市計画道路
	主要幹線道路
	山 道

まちの課題の変化	解決された課題 ・(都)名手市場麻生津線の整備の実施 ・消防活動円滑区域の拡大 ・まちづくり活動によるまちの魅力向上 ・修景整備等による街並みの向上 残された未解決の課題 ・ICと国道24号を結ぶ道路網の確立 事業によって発生した新たな課題 ・店舗数減少等への対応(地域の活性化) ・幹線道路整備に伴う歩行者安全に対する懸念
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	安全で便利な市街地の形成(道路・公園等の有効活用) ・交通安全活動等の実施 ・地域防災活動等の展開 まちづくり活動によるまちの魅力向上(散策MAPを活用したまちづくり活動の継続・充実) ・まちづくり活動支援事業等 幹線道路網の確立(ICと国道24号を結ぶ道路網の確立と本地区における広域交通結節点の形成) ・県道整備事業等(地区外) 賑わいの創出(店舗減少を抑制し、賑わいのあるまちづくりの展開、地域資源の情報発信など地元と行政との連携強化) ・まちづくり活動支援事業等 歩行者等の安全性の確保(幹線道路整備に伴う、歩行者等の安全対策の実施) ・交通安全活動等の実施